

『市民力アップデート・改めて「評価」の可能性を問う』

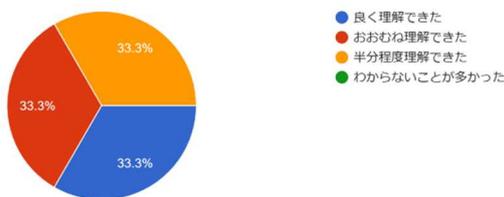
1. 日時：2024年10月12日（土）15:00～17:10
2. 会場：ZOOM開催
3. 講師：山谷清志（政策21 理事長・同志社大学大学院総合政策科学研究科教授）
4. 参加者：12人（会員・一般：10人、市町議会議員：2人）

5. 概要

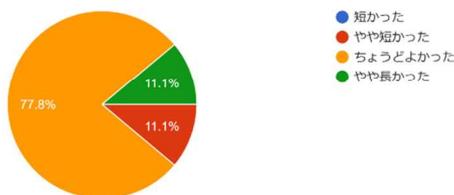
これまでの「政策評価」の実態、現状と課題、論点をふまえ、そもそもの「評価」の意味、今後の「評価」の可能性、そこに市民が参加する意義など、「評価」のあり方や方向性を改めて展望し、意見交換しました。

6. 参加者アンケートより

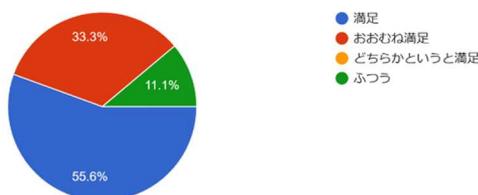
Q1. 本日の内容について、あてはまるものを選んで下さい。
9件の回答



Q2. セミナーの時間について、あてはまるものを選んで下さい。
9件の回答



Q3. 満足度について、あてはまるものを選んで下さい。
9件の回答



（回答結果）

Q1. セミナーの内容について、「よく理解できた」及び「おおむね理解できた」とする回答が、66.6%を占めました。

Q2. セミナーの開催時間について「ちょうどよかった」の回答が、77.8%を占めました。

Q3. セミナー全体を通しての満足度については、「満足」が55.6%、「おおむね満足」が33.3%となりました。

（感想より）

印象に残ったことやキーワードとして、「（政策評価を毎年するなら）定期健康診断」「明るい評価」「地域を元気にする評価」等の回答が目立ちました。

また、「褒める評価をぜひ！」との声や「県や市町村で行われている政策評価の実態と課題について、知りたい。」「岩手県内市町村の状況を把握する必要があると感じました。」という回答がありました。

全体を通して、「市民にも分かるような表現、内容で、分かりやすいセミナーでした。市民向けの内容として、継続して実施してほしい。」という意見が寄せられました。

7. 市民セミナー（第4回）のご案内

11月23日（土）15:00～17:00、次回もオンラインで『評価結果を活動に生かすー計画・評価調書を読むー』と題して、鎌田徳幸（政策21 元理事長）を講師に、政策評価の課題や論点をふまつつ、公開されている「評価調書」の読み方、評価結果を市民セクターの活動に生かすにはどうしたらよいかを考えていきます。

また、事例を通じて「政策評価」の実態、現状と課題の共有を図り、市民が「評価」を身近に感じ、生かしていく方法や方向性についても議論していきます。